

ふらつと 第22号 平成26年11月

秋祭りも終わり、年の瀬も近づいてきました。今年は急に寒くなることもあり、体調管理がとても大変かと思えます。元気に冬を迎えるために、早寝早起きの生活リズムを大切にしたいですね。

来年度、進学、就職に向けて本格的に動かれている時期かと思えます。福祉制度やサービスの利用について情報を知りたい時は、当センターにご相談いただければと思います。

<発行者>

東遠地区生活支援センター相談部

菊川市西方 4346-16

TEL 0537-35-2971

FAX 0537-37-3996

E-mail to-en-so@carol.ocn.ne.jp



読書の秋

～自閉症スペクトラムの方や家族が書いた本の紹介～

自閉症スペクトラムの方がご自身のことについて書かれた本が多く出版されるようになりました。今回は自閉症スペクトラムへの理解を深めるために、当事者の方や家族の方が書かれた本の紹介をさせていただきます。ご自身の生活を通して、人との関わり方、物事の理解の仕方、独特の感覚などを私たちに教えてくれています。図書館や本屋さんで探してみてください。



「自閉症の僕が跳びはねる理由」

著者 東田直樹

出版社 エスコアール

会話の難しい重度の自閉症者でありながら、パソコンや文字盤を使い、自分の思い、感覚をつづった本です。先日NHKで放送された「君が僕の息子について教えてくれたこと」でも、その様子がドキュメントされています。再放送も予定されているようなので、そちらも是非ご覧ください。



「ADHDアスペ系ママ へんちゃんのポジティブライフ」

著者 笹森理絵

出版社 明石書店

お子さんの診断をきっかけに、ご自身の特性についても知ることで、そこから現在は支援者となっているお母さんの著書です。

お子さん3人とも発達障害があり、夫婦で特性を理解しながら子育てされている様子が書かれています。特性をポジティブに考え、生活に生かしていく様子が書かれています。

笹森さんは、世界仰天ニュースや、ハートネットTVでも出演されています。



「アスペルガー症候群だって いいじゃない
～私の凸凹生活研究レポート～」

著者 シータ
出版社 G a k k e n

現在はエンジニアとして働かれているシータさんの著書です。成人になり、生きにくさの相談の中でアスペルガー症候群であることを知りました。診断を受け止めるまでの思い、ご自身の特性を振り返りながら研究する中で見つかった生き方のコツなどが書かれています。子どもの頃のこと書かれていて、子どもへの接し方のヒントも見つかると思います。



「学校コワイ」
文/よつば もこ
絵/かんだ あゆみ

※インターネットでの販売のみです。

お子さんの障害を知ることきっかけに、感じている世界を知ってもらいたいという思いで作られた絵本です。自閉症スペクトラムの子が、学校でこわいと感じること、ほしかった周囲の理解についてわかりやすく書かれています。自分のことをどう表現していいかわからない子どもと、どう接していけばいいか悩む親や先生をつなぐヒントが見つかると思います。

ご紹介させていただいた本は支援センターにも置いてあります。貸し出しはしていませんが、購入の前の参考に見に来ていただいても結構です。読書の秋に手に取って読んでいただければと思います。

～相談件数(平成 26年4月～10月)～

	掛川市	菊川市	御前崎市	森町	圏域外	合計
ケア会議	46	15	14	2	5	82
電話	477	178	236	42	65	998
訪問	108	80	102	59	33	382
来所	36	17	26	4	1	84
合計	667	290	378	107	104	1546

ご相談ください！

在宅で生活する、知的に障がいのある方、発達障がいの方、発達の気になる子どもさん、そのご家族のための支援を行います。暮らしのこと、福祉サービスのこと、仕事のこと、学校のこと etc... お気軽にご相談ください。3名のスタッフでお待ちしております！

<相談窓口> 0537-35-2971

